



日の出の国とその王たちへ

令和6年12月18日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

東洋における新しい未来の提案は、自己のルーツを西洋と相違する日本が、独自視点から新しい世界を提案することができる。それらは戦後スキームからの脱却と、新しい国家への転換において未来という現実を確立できるのである。

国際情勢と国内情勢は、もはや予断を許すものでない。これらは早急に改革をへて未来という現実への転換を要求されるものである。

誤りを改め、長所を伸ばしゆくことはより優れた現実へ歩むことである。真摯な努力は結果を与えることは古今東西問うものでないのである。

国家の独立性の回復は独自視点と行動を新たに求め、国内の解決は真摯にその責任と行動において自己の職責を行うものである。

これらは政治が既得権益とともに国家の衰退を得るということへの理解を提案し、それらとの訣別は未来という崇高な使命を実現することなのである。

新しい技術は新しい未来を約束するものである。政治はそれを牽引し、新しい国家の創造を実現しなくてはならない。

国民への正しい指針は、自らの行動においてその模範とした自己を行うことなのである。

財政、防衛、産業、為替、金融、外交その全てが戦前戦後に勝る国難を有するなか、政治はその英断と断行において未来を行うことを国民として祈念すること以外できないのである。

これら国民との真摯な対話は、現実を直視し、それら困難の克服を国民と手を携え実現することは必ず可能なのである。

政治はその責任から逃げてはいけない。それが唯一未来を可能とできるのである。

自らの信念は未来へ至る正しい道事なのである。